

Abstract of the Disclosure

もともとは、ヒトリンパ球表面マーカーの一つとして同定されていたタンパク質である、CD38タンパク質をコードする遺伝子を、上記の危険遺伝子として、その遺伝子の変異を検出することにより、被検者における糖尿病発症危険因子を検出する。

H:\DOCS\YKOAYMSHIM6.JP.DOC
013101